

賃借権又は使用貸借による権利の設定を受ける土地に係る附属物（土地を付合した物を含む。以下同じ）について、農地所有者と農地借受者は協議の上、下記のとおり原状回復の範囲及びその内容を確認した。

農地所有者と話し合い、将来的に農地を返す
場合の除草や耕耘の有無を決めてください。

[illegible]

既に設置されてある建物や樹木は、耐用年数を把握するため、農地所有者や設置者から設置時期の聞き取りをお願いします。

具体的な破損の状況を記入し、箇所ごとの写真を撮ってください。

2 土地に係る附属物

既存の附属物 (台数、規模等)	設置時期	借受時				返還時				
		破損等 の有無		具体的な状況	写真	修繕		交換 改植		具体的な状況
		有	無			要	不	要	不	
ビニールハウス 6m×30m 単棟 4 棟	H30. 04	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	被覆材劣化 骨組パイン 錆 ドア破損	B-1 B-2 B-3	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	被覆材、骨組に 破損なければ、 それ以上の補修 は不要
樹木の場合↓		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
幸水 20 本	H02. 06	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 本枯れ 改植要	B-1, 2, 3, 4, 5	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	剪定、防除等作 業を終えておく
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
借主が普通に使うことによって壊れたり汚れたりした部分（通常損耗）や時間の経過によって自然に古										

借主が普通に使うことによって壊れたり汚れたりした部分（通常損耗）や時間の経過によって自然に古くなって壊れたり汚れたりした部分（経年変化）を元に戻す義務はありません。このことを考慮して、農地所有者と話し合い、附属物の修繕や部品交換などの範囲の有無を決めてください。

設置者が附属物を設置した場合、返還時は設置者が収去する義務があります。

農地借受者が事業参加者となって補助事業を活用して設置した場合、補助事業実施主体と話し合って、撤去又は移設の方法を決めてください。リース金償還後は、農地借受者が撤去するのが基本です。

新設する附属物 (台数、規模等)	設置者	設置者の 収去義務		具体的な収去方法 (設置者の具体的な対応)
		要	不	
ビニールハウス 6m×30m 単棟 4 棟	JA〇〇 リース契約物件	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	JA〇〇からのリース期間中は、移設 リース金償還済みは、撤去
作業・資材用ハウス 6m×15m 1 棟	農地借受者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	撤去
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
樹木の場合↓		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
豊水 10 本	農地借受者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	伐採、伐根
二十世紀 10 本	農地借受者	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	農地所有者の要望があり、そのまま残す
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

契約書など、別の取り決めがあれば、写しを添付してください。

3 その他の取り決め

分類	質問者	内容	回答・結果	備考
ビニールハウス (既存)	借受者	当事者同士での賃貸借契約を行いたい。	所有者了承	賃貸借契約書
ビニールハウス (既存)	借受者	パワーステップを除去し、防錆塗料を塗布したい。	所有者了承	
ビニールハウス (既存)	借受者	天災その他不可抗力等、借受者の責のない事由により損傷、倒壊等が発生した場合、その修復方法等を含め別途所有者と協議したい。	所有者了承	
幸水 (既存)	借受者	一部改植させてほしい。法定耐用年数（梨26年）の全部を経過しているので、簡便法での使用可能期間（5年）を経過した際は、樹木が枯れても揉めない。	所有者了承	
幸水 (既存)	所有者	返還の際は、剪定、防除等、時期に応じて引き続き農業するための作業を行ってほしい。	借受者了承	
二十世紀 (新設)	所有者	譲り受けたいので、樹木はそのまま残してほしい。 収去しないことで得る利益は、負担したい。	借受者了承	返還時、借受者は費用請求すること

本確認書のとおり、土地に係る附属物の状況並びに原状回復の範囲及びその内容（公益財団法人やまぐち農林振興公社（以下、「公社」という。）は賃借人の履行補助者に該当しないことを含む。）を確認しました。

署名及び捺印をお願いします。

令和 〇 年 〇 月 〇 日

農地所有者（自署） 住 所 広島県広島市中区大手町〇-〇〇
氏名又は法人名 所有 太郎
(代表者名)
連 絡 先 〇〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇



令和 〇 年 〇 月 〇 日

農地借受者（自署） 住 所 山口市龜山町〇丁目〇番地〇号
氏名又は法人名 借受 花子
(代表者名)
連 絡 先 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇



写真台紙

撮影日： 年 月 日

<div>番号 A-1</div> <div>(写真添付)</div>	<div>番号 A-2</div> <div>(写真添付)</div>
<div>番号</div> <div>写真台紙は、この用紙でなくても、別の用紙に貼っていただいても構いません。用紙のサイズも問いません。</div>	<div>番号</div> <div>写真番号は、「1 賃借権又は使用貸借による権利の設定を受ける土地」と「2 土地に係る附属物」で確認した写真番号と一致させてください。</div>
<div>番号</div>	<div>番号</div>
<div>番号</div>	<div>番号</div>

原状回復に関する確認書の作成及び保管に関する注意事項

- 1 該当する項目（済・未 / 要・不 / 有・無）について、農地所有者及び農地借受者は現地で確認した上で、☒印を手書きで記載すること。
- 2 原本2通を作成の上、農地所有者及び農地借受者が原本を各自で保管すること。また、農地借受者は公益財団法人やまぐち農林振興公社（以下「公社」という。）及び当該農地の所在する自治体（以下「地元自治体」という。）に対し、写しを提出すること。
- 3 本確認書の枚数が2枚以上にわたる場合、各文書の継ぎ目に等分に掛かる契印を押すこと。また、本確認書の上に誓約書並びに連帯保証人承諾書を重ね、割印を押すこと。
- 4 本確認書を提出後、変更及び修正等が生じた場合、農地借受者は連帯保証人及び公社、地元自治体に対し、報告すること。
- 5 農地所有者及び農地借受者の双方の視点で、土地及び土地に係る附属物ごとに「箇所」を確認し、借受時の状態並びに消耗の状況を写真等に撮影して添付すること。
- 6 写真台紙については、用紙サイズの種類は問いません。

連帯保証人に関する注意事項

- 1 連帯保証人については、以下の(1)から(4)のうち、2人以上を選定すること。
(1) 安定した収入のある3親等以内の親族 (2) 職場の上司、同僚又は組合等農地借受者が属する団体の者
(3) 友人、知人等安定した収入のある者 (4) 親会社、子会社、関連会社等の法人
- 2 連帯保証人は公社に対し、別添「連帯保証人承諾書」を提出すること。また、原状回復の責任の限度額を定めること。なお、新設する附属物がある場合の限度額は、専門業者等から見積を徴する等の方法により記載すること。
- 3 農地借受者は連帯保証人に対し、以下の情報を提供すること。
(1) 農地借受者自身の財産及び収支の状況
(2) 農地借受者が農地借受者以外の者に負担している債務の有無並びにその額及び履行状況
(3) 農地借受者が本確認書の原状回復の責任について農地所有者に担保を提供していない事実
- 4 公社は連帯保証人から本確認書の原状回復に関する問い合わせがあった場合は、連帯保証人に対し必ず回答すること。
- 5 公社は本確認書の原状回復の責任が喪失した場合は、連帯保証人に対し必ず通知すること。

賃借権又は使用貸借による権利の設定を受ける土地及び土地に係る附属物に関する補足事項

- 1 農地所有者は土地について、賃借権又は使用貸借による権利の設定に当たって、農業上の利用の増進を図るために必要な措置（農地の適正な管理）を講ずること。
- 2 自然的な劣化・消耗等（経年変化）及び農地借受者の通常の使用により生ずる消耗等については、農地所有者が負担することが望ましい。
- 3 農地借受者の故意・過失、善管注意義務違反、その他通常の使用方法を超えるような使用による消耗等については、農地借受者が負担すること。
- 4 公社及び地元自治体は、賃借権又は使用貸借による権利の設定を受ける土地の原状回復に係る紛争には関与し、土地に係る附属物の原状回復に係る紛争には関与しないこと。ただし、両者間で関与することが適当だと判断された時は、この限りでない。
- 5 賃借権又は使用貸借による権利の設定を受ける土地の契約期間中において、農地所有者及び農地借受者の間で契約期間延長又は再契約の意向が確認できた場合は、土地及び土地に係る附属物について、返還時における原状回復の履行を新たに設定される契約期間の終了日まで延長できる。
- 6 既存の附属物については、農地借受者と農地所有者又はその他の者との間で、賃貸借、使用貸借、譲渡等の契約を結ぶ場合、公社及び地元自治体に対し、契約書等の写しを提出すること。
- 7 新設する附属物については、農地借受者が事業参加者となって農業経営に係る補助事業により設置した場合、補助事業実施主体と協議の上、撤去又は移設の検討を行うこと。
- 8 新設する附属物については、設置者が収去義務を負うこと。ただし、農地所有者が収去しないことに同意している場合は、設置者は収去義務を負わない。また、収去義務を負わない場合の費用請求は、設置者が直接農地所有者に請求すること。
- 9 残存する耐用年数については、減価償却資産の耐用年数等に関する省令第1条第1項別表第一又は別表「減価償却資産の耐用年数一覧」、営農計画書、青年等就農計画認定申請書等を参考にすること。

別表「減価償却資産の耐用年数一覧」

1 附属物の耐用年数

種類	構造・用途		細目	耐用年数
建物	木造のもの		倉庫用、作業場用のもの	15
	木骨モルタル造のもの			14
	レンガ造・石造・ブロック造のもの			34
	鉄骨鉄筋コンクリート造のもの			38
	金属造	骨格材の肉厚が 4 mm 超のもの		31
		骨格材の肉厚が 3 mm 超 4 mm 以下のもの		24
		骨格材の肉厚が 3 mm 以下のもの、軽量鉄骨		17
	簡易建物		木製主要柱が 10cm 角以下でトタンぶきなど	10
		堀立造のもの及び仮設のもの	7	
その他	ビニールハウス		主として金属造のもの（骨格部分が金属製）	10
			その他のもの（骨格部分が木造）	5
構築物	主としてコンクリート造、れんが造、石造またはブロック造のもの		斜降索道設備および牧さく（電気牧さくを含む）	14
			その他のもの 頭首工、えん提、用水路、かんがい用配管、貯水そう、あぜなど）	17
	主として金属造のもの		斜降索道設備	14
			その他のもの（農用井戸、散水用配管など）	
	主として木造のもの		斜降索道設備、牧さく（電気牧さくを含む）など	5
	主として土管のもの		暗きょ、農用井戸、かんがい用配管など	10
	その他のもの		薬剤散布用およびかんがい用ビニール配管など	8

2 生物の耐用年数

種類	細目	耐用年数	種類	細目	耐用年数
かんきつ樹	温州みかん	28	びわ樹		30
	その他	30	くり樹		25
りんご樹	わい化りんご	20	梅樹		25
	その他	29	かき樹		36
ぶどう樹	温室ぶどう	12	あんず樹		25
	その他	15	すもも樹		16
なし樹		26	キウイフルーツ樹		22
桃樹		15	茶樹		34
桜桃樹		21	オリーブ樹		25

3 耐用年数を経過している場合の使用可能期間（簡便法による算出方法）

法定耐用年数の全部を経過している場合	法定耐用年数の全部を経過していない場合
法定耐用年数×20%	(法定耐用年数－経過期間)＋(経過期間×20%)

※簡便法により算出した年数に1年未満の端数があるときは、その端数は切捨。その年数が2年に未満の場合は2年とする。

誓約書

公益財団法人やまぐち農林振興公社理事長 様

私は、賃借権又は使用貸借による権利の設定を受ける土地及び土地に係る附属物について、下記の事項を遵守することを誓約いたします。

記

1. 農業上の適正かつ効率的な利用を確保します。
2. 返還時において、原状回復に関する確認書に記載のとおり、履行します。
3. 土地に係る附属物の原状回復及びこれに関連する紛争については、公益財団法人やまぐち農林振興公社に対し、一切の迷惑をかけません。

以上

令和 ○年 ○月 ○日

農地借受者（自署）

住 所 山口市龜山町○丁目○番地○号

氏名又は法人名 借受 花子
(代表者名)

連 絡 先 ○○○-○○○○-○○○○

生年月日 S・H・R ○年 ○月 ○日 生

印鑑（実印）



※印鑑証明書（発行後3ヶ月以内）を添付すること。

連帯保証人承諾書

公益財団法人やまぐち農林振興公社理事長 様

賃借権又は使用貸借による 権利の設定を受ける土地	〇年〇月〇日付け山口県公告 「農用地利用配分計画書」のとおり	
土地に係る附属物 (土地に付合した物を含む)	「原状回復に関する確認書」のとおり	
保証する責任の限度額	金 〇〇〇 万円	
連帯保証人である私は、農地借受者から、以下の事項について説明を受けました。		チェック欄
(1) 農地借受者自身の財産及び収支の状況		<input checked="" type="checkbox"/>
(2) 農地借受者が農地借受者以外の者に負担している債務の有無並びにその額及び履行状況		<input checked="" type="checkbox"/>
(3) 農地借受者が本確認書の原状回復の責任について公益財団法人やまぐち農林振興公社に担保を提供していない事実		<input checked="" type="checkbox"/>

私は、別紙「原状回復に関する確認書」に基づき農地借受者が負う責任につき、上記の限度額を極度額とし、その範囲内において、農地借受者と連帯して履行の責を負います。

なお、賃借権又は使用貸借による権利の設定を受ける土地に係る契約更新後も、引き続き連帯保証人になることについて承諾します。

令和 〇年 〇月 〇日

連帯保証人（自署）

印鑑（実印）

住 所 山口市龜山町〇丁目〇番地〇号

氏名又は法人名 保証 一郎
(代表者名)

連 絡 先 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

生年月日 (S)・H・R 〇年 〇月 〇日生

続 柄 (〇)



※印鑑証明書（発行後3ヶ月以内）を添付すること。